

報告書抄録

ふりがな	かなかい							
書名	金貝遺跡							
シリーズ名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	37-2							
編著者名	黒田龍二 内田保之							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号							
発行年月日	平成22年（2010年）3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
かなかい いせき 金貝遺跡	ひがしおうみし 東近江市 のむらちよう 野村町	25205	205-108	136度13分09秒	35度06分20秒	4,998㎡	20080415 } 20090212 20090907 } 20091027	県営経営 体育成基 盤整備事 業（野村 地区）
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
金貝遺跡	集落 集落	縄文時代 奈良時代 } 平安時代前期 平安時代中期 } 平安時代後期 室町時代		縦穴住居 掘立柱建物 掘立柱建物・ 溝状遺構・ 土坑状遺構 溝状遺構	縄文土器・ 石器 須恵器・土師 器・鉄製品 灰釉陶器・黒 色土器・山茶 碗・土師器・ 鉄製品 信楽・土師器	最古級の三間社流造神社遺構		
要約	<p>金貝遺跡は、今回初めて発掘調査を実施した遺跡で、調査の結果、奈良時代から平安時代を中心とする時期の遺構・遺物を検出した。なかでも、8世紀後半から9世紀前半頃のものと考えられる掘立柱建物SB3は、その形態的特徴より三間社流造の神社本殿遺構であると考えられ、神社本殿建築の歴史に問題提議をなす遺構となる。この神社本殿遺構は、愛知川左岸扇状地上の開発を行った集団によって祀られたと考えられ、その位置より、灌漑水路などの水利とも関係が深かったであろうことがうかがえる。</p>							